

### Q 子宮頸がんワクチンが不足、対応は

#### A 対象者に不利益とならないよう検討

五間くみ子

**問** 今年度子宮頸がんワクチンの公費助成が決まり接種事業が始まった。現在全国的にワクチンが不足状態であるが対象者への案内は済んでいる。市民の中には医療機関へ問い合わせたが予約も取れない状況があり戸惑ったと聞く。今回、このような対応としたのは。

**答** 3月ごろから不足状態が続いている。厚労省は当分の間既に接種した方への2・3回目接種を優先する方針を打ち出した。今回事業体制が整ったことから事業開始に合わせ5月に通知を発送した。

**問** 子宮頸がんワクチンは半年の間に3回の接種が有効であり、年度内に終えるには1回目は9月中には接種を終える必要がある。その対応は。

**答** 不足状態により接種を希望している方に不利益とならないよう、対応を検討していく。

#### 地域の拠点・市内12公民館

**問** 地域の特色ある事業などホームページを充実させ、各公民館利用者や地域在住者だけではなく広く市民にもPR

してはどうか。それには公民館だよりを公開するなど考えてみては。

**答** 前向きに検討していく。

**問** 公民館の管内人口が地域により違う中で、同一職員体制だが問題ないか。

**答** 事業量に対応している。

**問** 今後公民館は、社会教育施設である中で行政機能をどこまで膨らますのか、あり方や方向性は。

**答** 公共施設のあり方という全体的な見直しの中で検討していく。

#### 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成

種類	対象年齢	助成接種回数	自己負担額(1回)	助成額(1回)
子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生～高校1年生	3回	1,600円	14,900円

・接種期間 平成23年5月20日(金曜日)から平成24年3月31日(土曜日)

・接種場所 受託医療機関

※詳しくは、深谷市保健センター(電話 048-575-1101)へお問い合わせください。

### Q 自治会と市行政の関係は

#### A 重要なパートナーと認識している

武井伸一

**問** 自治会の支援について市の考えは。

**答** 日ごろ多岐にわたる公共的な活動に深く感謝している。各種自治会補助金や自治会への委託料を支出しており自治会活動を支援している。

**問** 自治会員の加入率が減少しているが行政の考えは。

**答** 市では転入時に促進パンフレットの配布をしている。

#### 八基豊里地区の水害(洪水)対策は

**問** 万が一利根川や小山川が決壊した場合どのように市民を避難させるか。

**答** 庁内の担当部署と密な連絡体制をとり危険性が高まったら避難勧告を出し組織的に対応していく。

**問** 大雨のたびに冠水する道路が数多くあるが避難対策は。

**答** 現行の冠水道路は把握しており地域の実情に合った避難路を始め自治会の会合等に出向き協議したい。

**問** 地域に適した防災訓練が必要では。

**答** 充実した提案や支援ができるよう積極的に取り組んでいきたい。

#### 救急医療の中で

**問** 本来必要とされる深谷日赤の医師は何人くらいか。

**答** 過去に最も多かった人数は74人が同程度の医師数が必要と聞いている。

**問** 最近医師数が減少したと聞か。

**答** 常勤医師数は平成21年度65人で、直近では平成23年5月は66人と聞いており横ばいである。今後とも日赤を始め県や関係機関と連携し、医療体制の整備に取り組んでいく。



### Q 住宅リフォーム助成制度の確立を

#### A 各担当部署とともに研究していく

清水睦

**問** 疲弊する地域経済、深刻な市民の暮らしと中小業者、地域経済を元気にする仕事起しなど有効な施策が急がれている。県内の34自治体に住宅リフォーム助成制度が広がっている。市民の要求と業者の要求が一致する市内業者に特定した住宅リフォーム助成制度を確立すべきではないか。

**答** これまでも融資の利子補助を行ってきたが、震災の影響により市内の幅広い業種に影響があり、「緊急運転資金」を拡充した。住宅リフォーム助成制度などの景気対策については、各担当部署とともに研究していく。

#### 福祉施設の耐震化を

**問** 市は、委託している福祉施設の安全性に責任を負わなければならない。私立保育園や学童保育の耐震対策を支援すべきではないか。

**答** 私立保育園については、「埼玉県子育て支援特別対策事業」等を活用し、計画的に施設整備を図っている。ただし、「埼玉県子育て支援特別対策事業」は今年度で終了となることから今後は施設整備の推進に向け要望していく。学童保育に関しては今後検討していく。

#### 上野台茶売り街道以南下水道の早期整備を

**問** 上野台茶売り街道以南鼠地区の下水道の整備の見通しを知りたい。

**答** 現在の認可区域に含まれていないが、次の事業認可区域の拡大の際に検討したい。

### Q 耐震性に劣る本庁舎をどうするのか

#### A 防災拠点として不十分なことは認識

石川克正

**問** 本庁舎の耐震について現状での課題分析はできているのか。

**答** 耐震性が不足しており防災拠点としての機能も不十分である。また建築から45年経過しており、老朽化に伴う修繕等の維持管理に多額の費用がかかっている。

**問** 防災拠点として機能させていくべきと考えるが。

**答** 将来的には防災対策の拠点となる事が最善と考えている。ただし、耐震性に課題のある現状を踏まえ、深谷市地域防災計画において、その機能を消防本部に移す事ができるとしている。

**問** 防災計画で定義されている災害対策本部のメンバーが招集されても、まずやることは①情報の収集②担当への指示③県などへの報告など、情報のインプット・アウトプットである。電話等の手段でやりきれないと思えない。ホストコンピュータのある本庁舎を防災拠点として機能させるべきと考えるが。

**答** ホストコンピュータがある所で対策本部が開催されることが望ましい。

#### 『協働』は行財政改革に有効か

**問** 協働の仕組みづくりをどのように進めているのか。

**答** 本市において、ガーデンシティふかやを協働のモデル事業として推進している。市民の方に理解していただくという点では成果があった。また、協働の可能性が職員に醸成された。

**問** 他の部や課へ生かされているのか。

**答** 対象の事業は特にない。これから協働の取り組みを研究していく。



東日本大震災で被害のあった庁舎地下の天井

〈議会あれこれ〉議員も熱が入ります。6月議会の一般質問は3日間。延べ94人の方が傍聴にいらしていました。〉

〈一般質問記事の掲載は、通告順です。〉